

♪ 声に出して読みたい英文 ③

1992年、ブラジルのリオデジャネイロで開かれた国連の環境サミットで、12歳の少女 Severn Suzuki が、環境問題についてスピーチを行った。彼女のスピーチは非常に力強く、多くの人々に感動を与え、その後世界中に広く知られることとなった。ここではその一部を紹介しよう。

I'm only a child and I don't have all the solutions,* but I want you to realize, neither do you! You don't know how to fix the holes in our ozone layer. You don't know how to bring salmon back up a dead stream. You don't know how to bring back an animal now extinct.* If you don't know how to fix it, please stop breaking it!

I'm only a child, yet I know we are all part of a family of 30 million species, and we all share the same air, water, and soil — borders and governments will never change that.

I'm only a child, yet I know we are all in this together and should act as one single world towards one single goal. In my anger, I am not losing control, and in my fear, I am not afraid to tell the world how I feel.

In my country, we make so much waste.* We buy and throw away, buy and throw away. And yet northern countries will not share with the needy.* Even when we have more than enough, we are afraid to lose some of our wealth, afraid to share.



◀2006年カナダの大学で講演をする Severn Suzuki

注 solution 解決法 extinct 絶滅した waste ゴミ the needy 貧しい人々

第9章 分詞

イメージをつかもう

寒い朝ベッドから出るには？

HOW TO LEAVE BED ON A FREEZING COLD MORNING

Cozy & warm.

Feeling slightly guilty, but just so warm, you look at the clock, 6:01. Work in 2 hours.

Mentally weighing up the benefits of going for a run, but on the other hand, making up excuses as to why you don't need to go running today.

凍るような寒い朝にベッドから出る方法

(ベッドにいると暖かくて、気持ちがいい。)

ちょっと後ろめたい気がするが、このままであればとても暖かいと感じながら、あなたは時計を見る。6時1分。

2時間後には仕事だ。

ランニングに行けば健康によいと心の中ではわかっている、しかし他方では、今日はその必要はないと自分を納得させるための言い訳をあれこれ考えながら。

ランニングを日課にしている人でも、寒い冬の朝はベッドから出るのはつらいもの。まして、「できたら走ろう」と思う人は、余計に行きたくないと思うでしょう。

さて、タイトルの中にある **freezing** (凍るような) には、進行形でよく使う **-ing** がついています。しかし前に **be** 動詞もなく、進行形の一部というわけではなさそうです。文中の **Feeling**, **weighing**, **making** も同じです。この **-ing** はいったい何なのでしょう。



〈動詞の原形+ing〉とは

実はこの freezing は、動詞の freeze から来ています。

freeze(凍らせる) → **freezing**([ものを]凍らせるような、凍りつくように寒い)
 のように、動詞に-ing をつけると、形容詞の働きをさせることができます。
 excite(興奮させる) → **exciting**(人を興奮させるような、エキサイティングな)
 tire(疲れさせる) → **tiring**(疲れさせるような、骨の折れる)

なども同じです。これらを「分詞」(特に-ing 形は現在分詞)と呼びます。「分詞」は動詞と形容詞の働きを「分け持つ詞(ことば)」という意味なのです。完全に形容詞化していて、辞書では形容詞に分類されているものも多くあります。

-ing 形は現在分詞と動名詞

では、fishing(フィッシング)や jogging(ジョギング)はどうでしょうか。これも-ing がつきますね。では意味は…?

fish(魚釣りをする) → **fishing**(魚釣りのな?)
 jog(ゆっくり走る) → **jogging**(ゆっくり走るような?)
 ちょっとおかしいですね。形は同じ〈動詞の原形+ing〉ですが、これらは「動名詞」。動名詞は名詞の働きをし、「~すること」の意味でしたね(前章参照)。ですから、
 fish(魚釣りをする) → **fishing**(魚釣りをすること→魚釣り)
 jog(ゆっくり走る) → **jogging**(ゆっくり走ること→ジョギング)
 の意味になります。

もう1つの分詞：過去分詞

受動態の文に使われる「過去分詞」、これも実は分詞の仲間です。現在分詞と同じく、過去分詞も形容詞の働きをすることがあります。例をあげてみましょう。

fried chicken(フライドチキン)
stained glass(ステンドグラス)
 fried も stained も過去分詞ですが、名詞の前に置かれ、その名詞を修飾しています。
clear glass(透明なガラス)
 形容詞

このような形容詞の使い方と同じですね。それぞれもとの動詞から、次のように変化したものです。過去分詞は「~される」という受け身の意味になるのです。

fry(揚げる) → **fried**(揚げられた)
 stain(着色する) → **stained**(着色された)

分詞は補語にもなる

形容詞は補語としても使われますが、分詞も同じように、補語の働きをします。

She looked **surprised**. (彼女はびっくりしているようだった)

分詞

He sat **playing** a computer game. (彼は座ってコンピューターゲームをしていた)

分詞

まだまだある分詞の使い方

次に上記の文を次のように変えてみましょう。

Playing a computer game, he sat at his desk.

(彼は机に向かってコンピューターゲームをしていた)

Playing ~が文頭に来ていますね。実は、このような文を分詞構文と言います。

分詞構文の意味は?

ここでもう一度冒頭の文を見てみましょう。

Feeling slightly guilty, but just so warm, you look at the clock. (分詞構文)

この文の Feeling ~ so warm の部分は「ちょっと後ろめたい気がするが、このままでいればとても暖かいと感じながら」、つまり「~しながら」という意味を表し、後の「あなたは時計を見る(S+V)」という部分につながります。これが分詞構文です。Mentally **weighing** up ... も分詞構文の一部です。Feeling ~ so warm の部分には接続詞がありませんが、この場合は前後関係から「~して」「~しながら」の意味を表すと考えるのが適当でしょう。

分詞構文にすることで、3語(接続詞、主語、動詞)が1語(分詞)に減り、文が軽く簡略化されている印象です。分詞にはこのような働きもあります。

この章では、分詞の様々な働きを見ていきましょう。

§91 必修 名詞+分詞

205 Do you know the girl **dancing** on the stage?

舞台上で踊っている女の子を知っていますか。

206 She had a cat **named** Miyu.

彼女はミユと名づけられたネコを飼っていた。

Point 1 分詞は名詞を修飾する

現在分詞も過去分詞も、名詞を修飾することができる。これを分詞の限定用法と言う。分詞が後に語(句)を伴うとき、分詞は名詞の後に置かれ、後ろから名詞を修飾する。

205→ Do you know the girl **dancing** on the stage?

名詞 現在分詞+語(句)

206→ She had a cat **named** Miyu.

名詞 過去分詞+語(句)

Point 2 名詞+現在分詞

現在分詞は「～している」「～する」のように能動的な意味を表す。

the curtains **hanging** in the kitchen (台所にかかっているカーテン)

the boys **playing** baseball in the park

(公園で野球をしている少年たち)

kitchen [kɪtʃɪn] のように、*ch* はふつう [tʃ] と読む。他に、*match*(マッチ)、*sketch*(スケッチ)、*fetch*(取ってくる)も同じ。

Point 3 名詞+過去分詞

過去分詞は「～される」「～された」と受動的な意味を表す。

the guests **invited** to the party (パーティーに招待された客)

a letter **sent** by airmail

(航空便で出された手紙)

【注意】 現在分詞・過去分詞といっても、現在や過去を表すわけではないことに注意しよう。

【参考】 形容詞節への書きかえ

名詞を修飾する分詞は、関係代名詞を用いて節に書きかえられる。

→ p.254 参照

205→ Do you know the girl *who is dancing* on the stage?

206→ She had a cat *that was named* Miyu.

CHECK AND EXPRESS 91

日本語の意味を表すように、下線部の動詞を分詞にして、()内の語(句)を並べかえなさい。

- この町に住んでいる人々 (this town / the people / in / live)
- 氷におおわれた土地 (with / cover / the land / ice)

§92 必修 分詞+名詞

207 Put some salt into the **boiling** water.

沸騰している湯に塩を少し入れなさい。

208 I usually have a **boiled** egg for breakfast.

私はいつも朝食にゆで卵を食べる。

Point 分詞(1語)+名詞

分詞が1語で名詞を修飾する場合は、ふつう分詞を名詞の前に置く。

207→ Put some salt into the **boiling** water.

現在分詞 名詞

208→ I usually have a **boiled** egg for breakfast.

過去分詞 名詞

boil は「沸騰させる、沸かす、煮る」の意味なので、boiling は「沸騰している」、boiled は「ゆでられた」となる。

A **barking** dog seldom bites.

(ほえる犬はめったにかまない[ことわざ])

〔現在分詞〕

We do not use the word in **spoken** English.

(話し言葉としての英語ではその語を使わない)

〔過去分詞〕

【注意】 自動詞の過去分詞

他動詞の過去分詞は受動的な意味(～される)を表すが、自動詞の場合は「～した」のように完了的な意味を表す。

a **retired** professor(退職した教授)

fallen trees(倒れた木)

【参考】 名詞+分詞(1語)

分詞が1語で後ろから名詞を修飾することもある。これらは慣用的な表現であることが多い。

people **concerned**(関係者)

Paradise **Lost**(失楽園[=英国の詩人 Milton の長編詩の題名])

【参考】 (the + 分詞)「～する人、～するもの」

単数または複数の名詞の意味を表すことがある。「～する人、～するもの」の意味になる。

This rule does not apply to **the living**.

(この規則は生存者には適用されない)

The wounded were carried to the hospital.

(負傷者たちは病院に運ばれた)

The unexpected always happens.

(予期しないことがいつでも起こるものだ)

形容詞にも同じ用法があり、このような例は分詞が形容詞の働きを持つことを示している。

→ p.450 参照

CHECK AND EXPRESS 92

日本語の意味を表すように、()内の語を並べかえなさい。

- 私は流れ星に願い事をした。 I made a wish on (falling / star / a).
- 壊れた花瓶が床に落ちていた。 (a / lay / vase / broken) on the floor.

§93 必修 S + V + 分詞

- 209** A boy *came waving* his hand. 1人の少年が手を振りながらやって来た。
210 The door *remained closed*. ドアは閉じられたままだった。

Point S + V + C (=分詞)

分詞は文中で補語の役割をする。これを分詞の叙述用法と言う。**209**では現在分詞の *waving* が、**210**では過去分詞の *closed* が、それぞれ補語(C)の働きをしている。主語(S)との間に、現在分詞は能動「～している」、過去分詞は受動「～されている」の関係があることに注意しよう。

209→「少年」は「手を振る」 [能動]

210→「ドア」は「閉じられる」 [受動]

この形で用いられる動詞には、次のようなものがある。

1 sit, stand, lie, come, go など

後に補語がなくても文が成り立つ動詞である。現在分詞は「～しながら」、過去分詞は「～されて」の意味で、「どのような状態で」あるかを表している。

She *sat reading* a magazine.
(彼女は雑誌を読みながら座っていた)

The father *stood surrounded* by his children.
(父親は子どもたちに囲まれて立っていた)

注意 go fishing など

〈go + -ing〉「～しに行く」の形で慣用的に用いられるものがある。
 go fishing (釣りに行く), go shopping (買い物に行く), go swimming (泳ぎに行く), go skiing (スキーに行く), go hiking (ハイキングに行く) などである。
 They *went skiing* in [× to] Shinshu on a school trip.
(彼らは修学旅行で信州へスキーに行った)
 意味のつながりは〈× go to Shinshu〉ではなく〈ski in Shinshu〉になる。
 -ing の後に場所を表す語句が来るときは、前置詞に注意。

2 keep, remain, look, seem, feel, become, get など

後に必ず補語を必要とする動詞である。

He *kept looking* at his watch. (彼は腕時計を見続けた)

My mother *looked surprised*. (母は驚いたように見えた)

CHECK AND EXPRESS 93

()内の動詞を適当な形にしない。

We were afraid we couldn't finish it on time, so we kept (work) all night. And we were glad the owner looked (satisfy) with our work. We were also (please).

表現BOX 13 現在分詞・過去分詞の意味

次のような動詞の分詞形の意味に気をつけよう。

① excite 「(人)をわくわくさせる」

→ **exciting** (わくわくさせるような、おもしろい)
 → **excited** (わくわくさせられる→[人が]わくわくする)
 It was an **exciting** game.
(それはおもしろい試合だった)

Excited fans followed the movie star.
(興奮したファンが、映画スターの後を追いかけた)

② terrify 「(人)を怖がらせる」

→ **terrifying** (人を怖がらせるような→怖い)
 → **terrified** (怖がらせられる→怖がる)

The horror story was **terrifying**.
(その怪奇小説は怖かった)

Cathy was **terrified** of the dark.
(キャシーは暗闇を怖がった)

③ embarrass 「(人)を恥ずかしがらせる」

→ **embarrassing** (人を恥ずかしがらせるような→恥ずかしい)
 → **embarrassed** (恥ずかしがらせられる→恥ずかしがる)

His exam result was **embarrassing**.
(彼の試験の結果は恥ずかしくなるようなものだった)

I was **embarrassed** when I made a mistake.
(私は間違いをして恥ずかしかった)

Reaching
the **unreached**
- our common
challenge

The Global
Task Force
on Child Labour
and Education
for All

Reaching the unreached
(手をさしのべられていない人々に手をさしのべること) 児童労働に関する ILO のパンフレット▶

§94 必修

S + V + O + 分詞

211 We heard birds singing. 私たちは鳥がさえずっているのを聞いた。

212 I heard my name called. 私は自分の名前が呼ばれるのを聞いた。

Point 1 S + V + O + C (=現在分詞)

211 で singing は補語(C)の働きをしている。この場合、補語は目的語(O)がどのような状態であるのかを説明している。

→ p.62 参照

目的語と補語の間には O = C の関係(O is [are] C.)があることに注意しよう。

210→ We heard birds singing. [Oは~している]

S V O C

* Birds were singing.

この構文に用いられる動詞には see, hear, feel などの知覚動詞と have, keep, leave などがある。

We felt our boat rolling on the waves.

(私たちは船が波で横ゆれしているのを感じた)

I kept Jim waiting.

(私はジムを待たせた)

Who left the water running?

(誰が水を出しっぱなしにしたの)

run は「走る」の他に、「(川や水が)流れる」の意味もある。

Point 2 S + V + O + C (=過去分詞)

212 で called は補語(C)の働きをしている。211 と同様に目的語を説明しているが、現在分詞が「~している」と能動の意味を表すのに対し、過去分詞は「~される」と受動の意味を表す。

212→ I heard my name called. [Oは~される]

S V O C

* My name was called.

この構文に用いられる動詞には、知覚動詞、使役動詞と keep, leave, like などがある。

He couldn't make himself understood in English.

(彼は英語で自分の言うことを理解してもらえなかった)

Do you always keep your dog chained to the gate?

(あなたはいつも犬を門につないでおくのですか)

「自分自身(の言うこと)を(人に)理解される状態にすることができなかった」と考える。

注意 <have [get] + O + C>の表現では、過去分詞以外に現在分詞、不定詞も用いられるので、それらの表す意味関係、使い分けに気をつけよう。

① have [get] + O + 過去分詞

Oには主に「物」を表す語が来る。

(1) 「Oを~させる, してもらう」 [使役]

I had [got] my room swept for me.

(私は部屋を掃除してもらった)

sweep は「(ほうきなどで)掃く」の意味。

(2) 「Oを~される」 [受動]

I had [got] my finger caught in the door.

(私はドアに指をはさまれた)

(3) 「Oを~してしまう」 [完了]

We'll have [get] the project completed by the end of next week.

(そのプロジェクトは来週末までに完成する予定だ)

(3)の場合、過去分詞には done, finished, completed など、完了の意味を持つ語がよく用いられる。

② have [get] + O + 現在分詞

「Oに~させておく」 [使役]

Oには主に「人」を表す語が来る。

John had [got] us laughing.

(ジョンは私たちを笑わせた)

③ have + O + 原形不定詞

「Oに~させる, してもらう」 [使役]

He had the students write a short sentence.

(彼は生徒に短い文を書かせた)

→ p.166 参照

CHECK AND EXPRESS 94

()の語(句)を並べかえて、英文を完成しなさい。

- I was about to dive into the sea. I (my heart / felt / beating) fast.
- He shouted but he could not (heard / himself / make) in the crowd.



ギモンのタネ (26) I saw her dancing と I saw her dance はどう違う?

I saw her dancing. は「私は彼女が踊っているところ(動作)を見た」。I saw her dance. は「私は彼女が踊るのを見た」となる。現在分詞(-ing)を使うと、「~しているところ(進行中の動作)を見る」、原形不定詞を使うと「~するのを(動作の一部始終を見る)」の意味になる。-ingのほうが、生き生きとした動作を表すことに注意。

I saw a cat crossing the street.

(ネコが通りを横切っているところを見た) [←渡る途中を見た]

I saw a cat cross the street.

(ネコが通りを横切るのを見た) [←渡り始めから渡り終えるまでを見た]

→ <see + O + 現在分詞>で進行中の動作を見る



§95 発展

分詞を含む慣用表現

213 Mother was busy cooking dinner. 母は夕食をつくるのに忙しかった。

214 I had difficulty finding the building. 私はその建物を見つけるのに苦労した。

次のような表現を覚えておこう。

Point 1 be busy -ing 「～するのに忙しい」(→ 213)

I was busy preparing for the trip.

(私は旅行の準備に忙しかった)

She is busy reading and replying to e-mails.

(彼女はEメールを読んで返事をするのに忙しい)

Point 2 have difficulty -ing 「～するのが難しい, ～するのに苦労する」(→ 214)

The group had difficulty reaching the spot.

(一行はその地点になかなかたどり着けなかった)

Tom had no difficulty getting a taxi.

(トムは簡単にタクシーを拾った)

Point 3 spend ... -ing 「～して…を過ごす」

He spent the night talking with the guest.

(彼は来客と話をして夜の時間を過ごした)

She spent three years translating the book.

(彼女はその本を翻訳するのに3年を費やした)

参考 上記の表現はすべて -ing の前に前置詞 in を入れることもある。この場合、-ing は文法的には動名詞として扱う。

213→ Mother was busy *in* cooking dinner.

214→ I had difficulty *in* finding the building.

translate は trans- (越えて) + late (運ぶ) から、「別の言葉に移しかえる」の意味になる。

CHECK AND EXPRESS 95

下線部が日本文の意味を表すように、()内に適当な1語を入れなさい。

1. A: Where is Dad?

B: He is in the backyard and is () () the fences.
(フェンスにペンキを塗るのに忙しい)

2. A: You speak Japanese very well.

B: Thank you. I had () () it.
(日本語を学ぶのに苦労した)

3. A: What were you doing on the island?

B: I () the whole day ().
(一日中釣りをしていた)

§96 必修

分詞構文の形

(副詞節)

215 When she saw the cat,

(分詞構文)

Seeing the cat,

(主節)

she took it in her arms.

(主節)

she took it in her arms.

そのネコを見ると、彼女は抱き上げた。

Point 分詞で始まる語句が副詞の働きをする

上の Seeing the cat のように、現在分詞または過去分詞で始まる語群が、副詞句となって主節を修飾するものを分詞構文と言う。分詞構文は一部を除いて文語体である。

分詞構文のつくり方は以下の通り。

- 副詞節の主語と主節の主語が同じかどうかを確認する。
- 同じ場合、副詞節の接続詞と主語をとる。
- 副詞節の動詞と主節の動詞の時制が同じかどうかを確認する。
- 同じ場合、副詞節の動詞を分詞に変える。

主語が異なる場合は

→ p.218 参照

時制が異なる場合は

→ p.214 参照

As I live near the park, I often go there.

× × Living near the park, I often go there.

(公園の近くに住んでいるので、私はよくそこへ行く)

!注意 動詞が進行形するとき

(being + -ing)とせず、being を省略する。

When we were walking along the river, we sang a song.

→ Walking along the river, we sang a song.

(川に沿って歩きながら、私たちは歌をうたった)

動詞が受動態の場合は

→ p.214 参照

CHECK AND EXPRESS 96

2文がほぼ同じ意味を表すように、()内に適当な1語を入れなさい。

1. When I turned the corner, I saw an old church.

() the corner, () saw an old church.

2. As she had enough time, she decided to visit her old friend.

() enough time, () decided to visit her old friend.

§97 必修

分詞構文の表す意味

216 She drank coffee, **listening** to music. [付帯状況]

彼女は音楽を聴きながらコーヒーを飲んだ。

217 **Entering** the room, he smiled at me. [時]

部屋に入ると、彼は私に向かってほほえんだ。

218 **Having** much to do, he worked till late at night. [理由]

することがたくさんあったので、彼は夜遅くまで働いた。

分詞構文は次のように、様々な意味を表す。

Point 1 付帯状況を表す「～しながら」「～して」

a. 「～しながら」

同時に2つの動作が行われることを言う。接続詞を用いて書きかえるのが無理な場合が多い(→ 216)。

Smiling brightly, the boy shook his head.

(明るくほほえみながら、少年は頭を横に振った)

b. 「～して」

1つの動作に他の動作が続く場合は、and を用いて書きかえられる。

Opening the drawer, he took out some coins.

→ He opened the drawer *and* took out some coins.

(彼は引き出しを開けて、コインを何枚も取り出した)

He fired, **wounding** the bear.

→ He fired *and* wounded the bear.

(彼は発砲して、そのクマに傷を負わせた)

wound(～を傷つける)は[wá:nd]と発音する。

Point 2 時を表す「～すると」「～するとき」

「～すると」「～するとき」の意味で、when, whileなどで書きかえられる。

217→ *When he entered* the room, he smiled at me.

Swimming in the sea, he saw a jellyfish.

→ *While he was swimming* in the sea, he saw a jellyfish.

(海で泳いでいるとき、彼はクラゲを見た)

jellyfishは「クラゲ」、starfishは「ヒトデ」。

Point 3 原因・理由を表す「～なので」

「～なので」の意味で、because, as, sinceなどで書きかえられる。

218→ *Because he had* much to do, he worked till late at night.

Knowing he was asleep, I walked quietly.

→ *As I knew* he was asleep, I walked quietly.

(彼が眠っているのを知っていたので、私は静かに歩いた)

Living near the river, I often enjoy fishing.

→ *Since I live* near the river, I often enjoy fishing.

(川の近くに住んでいるので、私はよく釣りを楽しむ)

!注意 譲歩・条件を表す分詞構文

分詞構文がまれに「譲歩」や「条件」を表すことがある。

① 譲歩「たとえ～でも」これは though で書きかえられる。この意味を表すのは、admitting, granting [granted] など。

Admitting he has a point, I still think he is wrong.

→ *Though I admit* he has a point, I still think he is wrong.

(彼の言うことに一理あるとしても、やはり彼は間違っていると思う)

② 条件「もし～ならば」if で書きかえられる。

Being honest with you, I don't think he'll come.

→ *If I am honest* with you, I don't think he'll come.

(正直に言えば、彼は来ないと思う)

honest [ónəst] の h は発音しない。hour (時間) [áur] も同じく h を発音しない。

Q参考 接続詞＋分詞構文

意味をより正確にするため、接続詞を分詞の前に置くことがある。

Though having no money with me, I didn't care.

(お金を持っていなかったが、私は気にしなかった)

If given the chance, I want to try again.

(チャンスがあれば、もう一度やってみたい)

While taking a bath, I thought of the idea.

(風呂に入っている間に、私はその考えを思いついた)

上の文は(主語＋be動詞)の省略と考えることもできる。

→ *While I was* taking a bath, I thought of the idea.

→ p.366 参照

Q参考 分詞構文の位置

分詞は文頭に来る他、文中(主語と述語の間)や文末にも来る。

The hikers, **feeling** tired, took a short rest. [文中]

(ハイカーたちは疲れて、少し休んだ)

The boy ran up, **shouting** something. [文末]

(少年は大声で何か言いながら走って来た)

ただし、主語が代名詞の場合、分詞は文中には来ない。

→ × *They, feeling* tired, took a short rest.

CHECK AND EXPRESS 97

分詞構文を用いて書きかえなさい。

1. He refused to sign the document, and returned it to me.

_____, he returned it to me.

2. When I was walking along the river, I came to an old bridge.

_____, I came to an old bridge.

§98 必修

注意すべき分詞構文

219 Not knowing what to do, I asked him for help.

どうしてよいかわからなかったので、私は彼に助けを求めた。

220 Having finished lunch, the boys played outdoors.

昼食をすませてから、少年たちは外で遊んだ。

221 (Being) Surrounded by the sea, Japan has a mild climate.

海に囲まれているので、日本の気候は温暖である。

Point 1 否定形の分詞構文 not [never] -ing

分詞構文の否定形は、219のように not [never] を分詞の前に置く。

219→ As I did not know what to do, I asked him for help.

She sat still, not saying a word.

(彼女は一言もしゃべらずに、じっと座っていた)

Never expecting to see me there, he was very surprised.

→ As he never expected to see me there, he was very surprised.

(そこで私に会うとは夢にも思わなかったので、彼は非常に驚いた)

Point 2 完了形の分詞構文(having + 過去分詞)

〈having + 過去分詞〉の分詞構文を、完了形の分詞構文と言う。主節の述語動詞よりも前の時を表す。

220→ After the boys had finished lunch, they played outdoors.

↑ played より前の時

Having done a good job, he felt quite satisfied.

(いい仕事をしたので、彼はとても満足した気分だった)

Having lost his wallet, he went to his mother for money.

(財布をなくしたので、彼は母にお金を借りに行った)

【注意】完了形分詞構文の否定形

Not [Never] having ~ の形になる。never の場合は Having never ~ の形も可。

Never having had [Having never had] a beer, I don't know what it tastes like.

(ビールを飲んだことがないので、私はそれがどんな味なのかわからない)

Point 3 受動態の分詞構文(being + 過去分詞)

〈being + 過去分詞〉の being はふつう省略され、過去分詞で文を始める。

221→ As it is surrounded by the sea, Japan has a mild climate.

Seen from the sea, the building looks most beautiful.

→ When the building is seen from the sea, it looks most beautiful.

(その建物は、海から眺めるとき最も美しい)

Based on the theory, the figure should be higher.

→ If the figure is based on the theory, it should be higher.

(その理論に基づけば、数値はもっと高くなるはずだ)

The document, read carefully, will give us the truth.

→ If it is read carefully, the document will give us the truth.

(その記録を注意深く読めば真実が明らかになるだろう)

document は「(証拠になる)記録、文書」。
documentary は「(事実に基づく)記録映画、ドキュメンタリー」。

【参考】名詞/形容詞(補語)で始まる分詞構文

受動態の場合に〈being + 過去分詞〉の being をよく省略するのと同様、

〈being + 名詞/形容詞〉の being を省略することがある。

(Being) An honest employee, he told the truth to his boss.

(正直な従業員であったので、彼は上司に真実を告げた)

(Being) Hungry most of the time, they wandered about the wilderness looking for food.

(ほとんどいつも空腹で、えさを求めて彼らは荒野をさまよった)

【参考】受動態の完了形

〈have [had] been + 過去分詞〉の分詞構文は、〈having been + 過去分詞〉の形になる。

Having been warned about an accident ahead, I drove carefully.

→ As I had been warned about an accident ahead, I drove carefully.

(前方の事故に注意するように言われていたので、私は用心して運転した)

なお、分詞句と主節の時間関係が明らかな場合は、having been は省略が可能。

(Having been) Brought up in China, he spoke Chinese very well.

→ Because he had been brought up in China, he spoke Chinese very well.

(彼は中国で育ったので、中国語をとてとても上手に話した)

(Having been) Trained by a good teacher, she made rapid progress.

→ As she had been trained by a good teacher, she made rapid progress.

(よい先生から訓練を受けていたので、彼女の進歩は速かった)

CHECK AND EXPRESS 98

()内の語句のうち、適当なほうを選びなさい。

- (Not finding / Finding not) anything to buy, Jim left the shop.
- (Having meeting / Having met) her before, I recognized her at once.
- (Having been told / Having told) not to go outdoors, I stayed in the room.

§99 発展

There is [are] + S + 分詞

222 There was a big fish swimming in the tank.

大きな魚が水槽の中で泳いでいた。

223 There are many scientists engaged in the research.

その研究には多くの科学者が従事している。

Point There is ~の後に分詞が来る

There is [are] + S ~. の文で、S の後に分詞が来ることがある。それぞれ次の文とはほぼ同じ意味を表す。

222 = A big fish was swimming in the tank.

223 = Many scientists are engaged in the research.

S の後に置かれているのが現在分詞の場合は、「~している S がある[ある]」→「S が~している」という能動的な意味になり、過去分詞の場合は「~された S がある[ある]」→「S が~されている」という受動的な意味になる。

There are some boys playing in the park.

(公園で何人かの少年が遊んでいる)

There was little wine left in the bottle.

(びんの中にはほとんどワインは残っていなかった)

CHECK AND EXPRESS 99

下線部の語を分詞にして、()内の語(句)を並べかえなさい。

1. There was (come / a strange sound / the room / from).
2. There is (on / some food / the table / leave).



◀ Cars left unattended for more than 20 minutes will be towed away. (20分以上放置された車はレッカー移動されます)

§100 発展

with + O + 分詞

224 She came in with her eyes shining.

彼女は目を輝かせて入って来た。

225 John sat on the sofa with his arms folded.

ジョンは腕を組んでソファに座っていた。

Point (with + O + 分詞)で付帯状況を表す

1 with + O + 現在分詞「O が~している状態で」

現在分詞は能動的な意味を表す。224 では O(彼女の目)が shining「輝いている」状態を表している。

He talked on and on, with his pupils yawning.

(彼は話し続けたが、生徒たちはあくびをしていた)

《米》では pupil はふつう小学生、student は中学生以上の学生をさす。

2 with + O + 過去分詞「O が~された状態で」

過去分詞は受動的な意味を表す。225 では O(彼の腕)が folded「組まれた」状態を表している。

She sat with her legs crossed.

(彼女は脚を組んで(脚が組まれた状態で)座っていた)

Q参考 with + O + 形容詞・副詞・前置詞句

上記の例と同じように、付帯状況を表す。

You must not speak with your mouth full. (形容詞)

(口に食べ物を入れたまま話してはいけない)

They stood in the room with their hats on. (副詞)

(彼らは部屋の中で帽子をかぶったまま立っていた)

Peter walked with the old man on his back. (前置詞句)

(ピーターはその老人を背負って歩いた)

!注意 現在分詞か過去分詞か

「能動的意味→現在分詞」、「受動的意味→過去分詞」であるが、日本語だけで判断すると間違える場合がある。例えば、surprise は「~を驚かす」の意味であり、be surprised(受動態)で「驚かされる→驚く」の意味になるので、日本語では能動的の意味でも、英語では過去分詞を使う必要がある。

be pleased(喜ぶ)、be satisfied(満足する)、be interested(興味がある)、be left(物が残る)などについても同様で、特に感情表現の場合は注意が必要である。

CHECK AND EXPRESS 100

()内の語(句)を並べかえて、対話を完成しなさい。

1. A: Turn off the TV. You are studying, aren't you?
B: But I like to study (on / the TV / with).
2. A: What did you see there?
B: I saw a dog (its head / with / wounded).

§101 発展

独立分詞構文

226 Night coming on, they returned to their tent.

夜になってきたので、彼らはテントに戻った。

227 Strictly speaking, I am also responsible for the accident.

厳密に言えば、私もその事故に対して責任がある。

Point 1 意味上の主語を示す分詞構文

分詞構文の意味上の主語は、その主節の主語と一致する場合は示さない。しかし主語が異なる場合は、分詞の意味上の主語を示す。226 では Night が分詞の意味上の主語で、このように意味上の主語が示された分詞構文を独立分詞構文と言う。

→ p.211 参照

226→ As night came on, they returned to their tent.

× Night coming on, they returned to their tent.

Nobody having any more to say, the meeting was closed.

(誰もそれ以上言うことがなかったので、会合は終わった)

He fled by himself, his men surrounded by the enemies.

(彼は1人で逃走し、部下は敵に囲まれた)

We would like to go hiking, weather permitting.

→ We would like to go hiking, if the weather permits.

*この場合は the が必要

(天気がよければ、ハイキングに行こうと思います)

!注意 There being ~.

There is [are] ~. を分詞構文にする場合は、there を主語の位置に残す。

There being nothing to do, they left the office.

(何もすることがなかったので、彼らは事務所を出た)

There being no bus service, we had to walk for three miles.

(バスの便がなかったので、私たちは3マイル歩かなければならなかった)

office, service のように、c の後に e や i が来ると、c を [s] と読む。
ice (氷), face (顔), city (市) など。

Q参考 being の省略

次のように、独立分詞構文中の being が省略された形もある。

The interview (being) over, I felt relieved.

→ As the interview was over, I felt relieved.

(面接が終わったので、私はほっとした)

Point 2 慣用的な独立分詞構文

分詞の意味上の主語が一般の人の場合は、意味上の主語を特に示さない。このような分詞構文は慣用句として覚えよう(→ 227)。

generally speaking (一般的に言えば), frankly speaking (率直に言えば), strictly speaking (厳密に言えば), judging from ~ (~から判断すれば), talking of ~ (~はと言えば), granting [granted] that ~ (~仮に~としても), considering ~ (~のことを考えれば), taking ~ into consideration (~を考慮に入れる) など

Generally speaking, this kind of flower lasts a long time.
(一般的に言って、この種の花は長持ちする)

Frankly speaking, I don't want to see him again.
(率直に言えば、私は二度と彼には会いたくない)

Strictly speaking, his theory is wrong.
(厳密に言えば、彼の説は間違っている)

Judging from his expression, he is in a bad mood.
(表情から判断すると、彼は機嫌が悪い)

Talking of travels, when are you leaving for France?
(旅行と言えば、あなたはいつフランスへ行くの?)

Granting that it is not illegal, it is still immoral.
(仮にそれが違法ではないとしても、道徳に反している)

Considering his ability, he has done well.
(彼の能力を考えると、彼はよくやった)

Taking everything into consideration, which city is the best to live in?

— I think Boston is the best, all things considered.
(すべてのことを考慮に入れると、どの町が最も住みよいだろうか。

— 総合的に考えれば、ボストンが最もよいと思います)

consider のように、c の後に a, o, u が来る場合は、たいてい c を [k] と読む。cat (ネコ), cook (料理する), cup (カップ) など。

CHECK AND EXPRESS 101

日本語の意味を表すように、() 内に適当な1語を入れなさい。

- 彼女の言葉から判断すると、彼は重病らしい。
() () her words, he seems seriously ill.
- 健康状態を考慮すれば、あなたは十分に休養する必要がある。
() your health () (), you need a good rest.

♪ 声に出して読みたい英文 ④

ここで紹介するのは、『マザーグース』の1つ Sing a Song of Sixpence (6ペンスの歌をうたおう)である。18世紀頃、王侯貴族の料理として、生きた鳥をパイにつめて焼き、食卓でパイを切り開くと、鳥が生きたまま出てくるというものがあったと言われている。詩の前半はその様子をうたったものである。各連の2行目と4行目が脚韻を踏んでいる (rye — pie, sing — king, money — honey, clothes — nose) ことにも注意しよう。

Sing a song of sixpence,

A pocket full of **rye**;

Four and twenty blackbirds,

Baked in a **pie**.

When the pie was opened,

The birds began to **sing**;

Wasn't that a dainty dish,

To set before the **king**?

The king was in his counting-house,

Counting out his **money**;

The queen was in the parlour,

Eating bread and **honey**.

The maid was in the garden,

Hanging out the **clothes**,

When down came a blackbird,

And pecked off* her **nose**.

注 rye ライ麦 blackbird クロウタドリ dainty dish おいしい料理
counting-house 財務・会計を管理する部門(場所) parlour = parlor 居間
peck off (鳥などが)くちばしでつつく



第10章 比較

イメージをつかもう

大きな古時計

“大きなのっぼの古時計、おじいさんの時計”
で始まる「大きな古時計」。平井堅がうたってヒットしましたね。これはもともと英語の歌で、原題は *My Grandfather's Clock* と言います。

My grandfather's clock
Was too large for the shelf,
So it stood ninety years on the floor;
It was **taller** by half
Than the old man himself
But it weighed not a pennyweight more.

おじいさんの時計は
棚にのせるには大きすぎて、
90年間床に立っていた。
おじいさんの半身分、
おじいさん自身よりも背が高く
でも1ペニーウエイトも重くなかった。

日本語の歌詞では「100年いつも動いていた」
でしたが、本当は90年だったんですね。そして
時計がどのくらい「のっぼ」だったかとい
うと、実際はおじいさんの背丈の半身分「のっ
ぼ」だったんですね。おじいさんと時計の背
丈を比べるのに、比較表現がここで用いられ
ています。

